

必ず効果をあげるための

# 成果につながる 失敗しないデザインレビュー(DR)の基本とすすめ方 ～演習・討議で異業種のDRもベンチマーキングできます。貴社のDRを変革するチャンス。～

◆日時：2020年2月5日(水) 10:00～17:00 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円  
◆会場：連合会館 402号室 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円  
(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

**DRの基本・進め方、抜け漏れ防止ツール、プロセス事例、  
リスク分析のケーススタディ、高度化ツール活用ポイント等について、  
長年のノウハウを含め、実践的に分かりやすく解説する特別セミナー !!**

## 【講師の言葉】

多くの企業でDRやFMEAを活用しているが、十分な成果が得られていないとの声を聞きます。特に新規製品開発での有効なDR法を模索されているようです。失敗しないDRの本質は、源流にスポットを当てることです。つまり、企画段階のDRに注力して適切な手法を駆使したディスカッションに時間をかけるべきなのです。

いままでのセミナーと何処が違うのか？ポイントは次の通り。

1. 30年以上にわたる複数企業での新製品開発の提案者、決裁者、アドバイザー経験から蓄積したノウハウとなっています。
2. 企業の身の丈にあった研究、製品開発、生産技術等の開発プロセスを網羅しています。

【受講対象】 研究・技術・生産技術部門、DR推進スタッフなどの管理者および担当者（業種は不問）

【予備知識】 事前に、自社のDRの課題の要点を確認しておくこと。

【習得知識】 1) 演習で他社の課題も聞いて、はっと思えるポイントを確認できる。  
2) 抜け漏れをチェックし皆で知恵を出し合うというDRの本質を再確認できる。

## ◆セミナーお申込要領

### ●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

### ●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

### ●申込先



**(株)TH企画セミナーセンター**

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210

TEL:03-6435-1138

FAX:03-6435-3685

E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0205 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

## ◆プログラム◆

【講師】 ぷろえんじにあ 代表 粕谷 茂 先生

ソニー(株)・富士ゼロックス(株)を経て現在に至る。  
技術士(機械&総合監理部門)、山口大学ものづくり特別講義 講師  
神奈川産業振興センター設備診断アドバイザー、韓日技術協力財団技術アドバイザー

### 1 はじめに(研修の狙い&結論)

### 2 DRの基本と進め方

- 2.1 DRとは
- 2.2 DRの仕組みと機能
- 2.3 DRの効果
- 2.4 DRの種類
- 2.5 DRの審査基準
- 2.6 開発プロセスとDRの体系
- 2.7 フェーズごとの準備資料
- 2.8 DRの主な問題点と原因
- 2.9 効果的な対応策

### 3 DRの抜け漏れ防止ツール

- 3.1 企画書の構成と手法/チャート
- 3.2 顧客ニーズ・要素技術表
- 3.3 WBS(機能系統図)
- 3.4 LRC(責任権限表)
- 3.5 DA(システム選択ツール)
- 3.6 評価基準と定量的評価指標
- 3.7 ROIシミュレーター(投資評価ツール)
- 3.8 開発テーマの進捗管理法
- 3.9 エキスパートリスト
- 3.10 課題共有化のための可視化法  
(※参考:プロセス改革ベンチマーキング事例)  
演習1  
(S-Rストーリーで課題の可視化)  
Q&A

### 4 DRプロセス事例

- 4.1 研究開発プロセス
- 4.2 生産技術プロセス

### 5 リスク分析のケーススタディ

- 5.1 リスクとは
- 5.2 リスク分析
- 5.3 重点管理項目とその選び方
- 5.4 変更点・分析ワークシート

### 6 主なDR高度化ツール(活用ポイント)

- 6.1 ユニバーサルデザイン
- 6.2 フールプルーフ
- 6.3 フェールセーフ
- 6.4 FMEA
- 6.5 3DCAD
- 6.6 CAEシミュレーション
- 6.7 タグチメソッド  
Q&A  
(※参考事例:効果的DR提案書の作成法)  
ミニ演習(具体的事例へのコメント)  
演習2(DRのベンチマーキング&討議)

まとめ

Q&A

## ●申込書・2020年2月5日(水)「成果につながる失敗しないデザインレビュー(DR)の基本とすすめ方」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄